

議案番号	件名	付託委員会	議決結果
議第82号	平成30年度高山市一般会計補正予算（第4号）	予算決算特別	原案可決
議第83号	平成30年度高山市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）	予算決算特別	原案可決
議第84号	平成30年度高山市下水道事業特別会計補正予算（第1号）	予算決算特別	原案可決
議第85号	副市長の選任について	—	同意
議第86号	教育長の任命について	—	同意
議第87号	教育委員会委員の任命について	—	同意
議第88号	固定資産評価員の選任について	—	同意
議第89号	人権擁護委員候補者の推薦について	—	同意
議第90号	高山市名誉市民について	—	同意

議員提出議案

議案番号	件名	上程日	議決結果
発議第2号	精神障がい者に対する公共交通機関の運賃割引制度の適用を求める意見書	最終日	原案可決

9月定例会の議案賛否一覧

9月定例会の提出議案における各議員の賛否は次のとおりです。
 （この他の議案については、いずれ全員一致で可決・承認・同意しています）

	伊東 寿充	谷村 昭次	西田 稔	沼津 光夫	榎 隆司	山腰 恵一	渡辺 甚一	北村 征男	岩垣 和彦	中 博之	倉田 博之	松山 篤夫	上嶋 希代子	車戸 明良	松葉 晴彦	木本 新一	溝端 甚一郎	水門 義昭	橋本 正彦	中田 清介	藤江 久子	谷澤 政司	今井 武男	牛丸 尋幸	
認第 1号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	●
認第 2号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	●
議第85号	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○

※「○」は賛成、「●」は反対。溝端議長は採決に加わりません。

議員発議

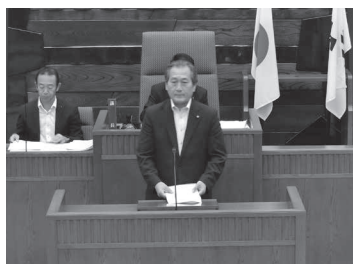
議案の多くは市長から提出され上程されますが、一定の要件を満たした上で議員から提出し上程される議案もあり、議員が提出することを発議（ほつぎ）といいます。

今議会では1件の意見書（用語解説）について発議があり、全会一致で可決し、地方自治法の規定により衆参両院議長、内閣総理大臣、厚生労働大臣、国土交通大臣に意見書を提出しました。

精神障がい者に対する公共交通機関の運賃割引制度の適用を求める意見書

障害者基本法において、精神障がい者は、身体障がい者及び知的障がい者と同じく「障害者」と定義されており、障がい者の自立及び社会参加のための支援策として、医療や介護、雇用の促進等が規定されている。また、平成28年4月には、障害者差別解消法及び改正障害者雇用促進法が施行されるなど、障がいを理由とするあらゆる差別の解消や、障がい者の自立及び社会参加の促進に向けた制度改正が進められてきている。しかしながら、昨今、中央省庁などによる障がい者雇用の水増し問題が明らかとなり、あらためて障がい者に対する社会的障壁を取り除き、障がいのない人と同じように働く機会を保障することの重要性を、再確認しているところである。

こうした中、多くの精神障がい者は、医療機関への通院や障害福祉サービス事業所への通所など、日常生活や社会参加のための移動手段として広く公共交通機関を利用しているが、各公共交通機関における運賃割引制度の対象は、身体障がい者及び知的障がい者に限定されていることが多く、精神障がい者にとって、その経済的な負担が自立や社会参加を妨げる要因の一つとなっており、速やかな改善が求められている。



よって、国におかれては、精神障がい者についても、身体障がい者及び知的障がい者と同様の運賃割引制度が適用されるよう交通事業者に対して働きかけを行うなど、必要な措置を講じるよう強く求める。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成30年9月28日
高山市議会